

稲荷山図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和5年11月7日(火) 10時30分～11時30分
- 2 場所 稲荷山図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 7名
図書館 3名
(稲荷山図書館長、館長代理2名)
- 4 テーマ 「これからの稲荷山図書館について」
- 5 配布資料 ・令和5年度「事業実績一覧」
・情報発信いなりやま(令和5年11月号)
- 6 次第 (1) 稲荷山図書館長自己紹介
(2) 図書館職員紹介
(3) 館長挨拶
(4) 事業紹介
(5) 昆虫事業紹介
(6) 懇談
(7) 稲荷山図書館長挨拶

稲荷山図書館利用者懇談会 会議録

1 稲荷山図書館長自己紹介

2 図書館職員紹介

館長代理2名

3 館長挨拶

本日はお忙しい中、懇談会にご出席いただきありがとうございます。
毎年実施しております懇談会ですが、今年は「これからの稲荷山図書館について」をテーマに、図書館サービスのありかたや稲荷山図書館の取組についてご意見をお聞かせいただきたいと思います。

また、稲荷山図書館は昆虫に関する資料のコレクションが多く、昆虫に関する事業にも力を入れているところですが、その取組についてもお気づきのことがございましたらご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4 事業紹介

5 昆虫事業紹介

6 懇談

- 図書館 事業の取組みについてご質問やご意見等がございましたらお願いいたします。
- 利用者 自然体験や昆虫観察、自然クラフトなど自然体験全般を扱っている施設にあります。飼育技術にも力を入れているということですが、子どもからクワガタやカブトムシなどの飼育についての問い合わせがある場合、いくらかのアドバイスはできるのですが、電話などの問い合わせでもっと深く知りたいという場合、図書館を紹介してもよいでしょうか。
- 図書館 関連する資料についてはご紹介いたします。資料を見ながらお伝えすることもございます。飼育方法については飼ったことがある昆虫についてはお伝えできることがあります。
- 利用者 関連する資料を紹介できるだけでもぐっと興味が広がると思います。
- 利用者 私は普段、光が丘図書館を利用していますが、年に1回懇談会に出席しており、ユニークな活動をされていて注目しています。昆虫の生体観察ができるなど工夫されていることをお聞きしとても楽しいのですが、今練馬の公園計画がありますが、図書館は関係あるのでしょうか。なにか影響はあるのでしょうか。
- 図書館 この地域一帯のことではありますが、現在開示されている情報以外、私たちもわからないところです。
- 利用者 カブトムシ以外に蝶の生体飼育もおこなっているのですか。
- 図書館 蝶のアサギマダラとオオムラサキを幼虫から飼育しております。アサギマダラはこれからの寒い時期にかけて飼育を始めます。ぜひお越しいただきご覧ください。アサギマダラのサナギはとても美しく、海外ではクリスマスツリーに飾ったりするそうです。オオムラサキの幼虫はツノのようなものが生えていてとてもかわいいです。また育てる蝶の種類によって幼虫が食べる葉が異なるため、それぞれの植物も育てなくてはなりません。
- 利用者 青虫はすごい食欲だから大変ですね。
- 利用者 蝶を飼育する2種類について、なにかこだわりはあるのですか。
- 図書館 季節的にほかの昆虫がいないときに飼育ができるということがあります。夏も冬も見ることができます。
- 利用者 虫嫌いの方からなにか苦情がくることはありますか。
- 図書館 今年度実施しました、昆虫の写真を公募し、昆虫写真展を図書館内で行った際に、「気持ち悪いからやらないでほしい」というご意見をお一人いただきましたが、カウンターに展示しております幼虫などは興味深く覗いてくださる方が多いようです。
- 利用者 来るたびに少しずつ成長しているところは親近感もわき、昆虫を好きになるきっかけになるような印象があります。
- 利用者 幼稚園のコーディネーターをしています。一番近い図書館ということで6年ほど地域連携しています。幼稚園に読み聞かせに来てもらったり、図書館休館日に幼児たちに図書館のバックヤードツアーをしてもらっています。もうひとつの軸となっているのが昆虫とのふれあいで、カブトムシの幼虫を図書館から預かり育てるということを4～5年行っています。年少が幼虫を育てていくと夏に成虫になった時

には自分たちも年長となっていて、共に成長を感じています。夏休み中に成虫となって出てきてしまうため、園児がいない間に死んでしまっはかわいそうなので図書館へ里帰りさせています。11月にはまた図書館から幼虫を預かります。初め幼児から気持ち悪いと言われると思いましたが「触っちゃだめ」と注意するくらい興味を持ってもらえています。小中学校へ行っても虫が苦手な子にはなりにくい、苦手なものをひとつなくしてあげられているのかなと思っています。幼稚園ではこのような連携をとっていますが、近隣の小中学校などでは職場体験などどのくらい連携をされているのですか。

図書館 連携校は小学校6校、中学校4校です。今年度の職場体験は担当外中学校の受け入れも含め、4校の実施がありました。小学校へは訪問し、特色を生かした虫のおはなし会やとしょかんへおいでよという図書館の紹介、百科事典の使い方授業などを行っています。コロナの時期に比べ、学校との連携もかなり戻ってきています。

利用者 高校の手話部のおはなし会があったようですが。

図書館 高校手話部の生徒に手話つきおはなし会や中学校英語部の生徒に英語のおはなし会をやっていただきました。反応も良く小さい子も楽しんでいただけました。プログラムもすべて学生が組んでくれるのですが、とてもしっかりと作られていて、また臨機応変さがあります。子どもの反応に合わせて対応を変えるなど、私たちも学ぶところがあります。

利用者 高校の部活との連携は今年からですか。

図書館 昨年からお願ひしています。

利用者 学生の活躍の場にもなっていると思います。部活で頑張っ発表する機会にもなるのはいいことですね。

図書館 好きな本のポップを書いてもらう事業も今年は今までで一番応募がありました。

利用者 中学校で確かポップづくりは授業であったと思います。感想文ではなく、ポップの形で本の紹介を作成するというものです。

図書館 YAコーナーに現在職場体験の学生によるポップを展示していますのでお帰りの際にでもご覧ください。

利用者 本の帯も書くというのもおもしろいですね。

利用者 タブレットを小学校から使っているので、タブレット上で帯のデザインもできるかもしれませんね。

図書館 手づくりというイメージだったのですが、今はそういったことも可能なんです。

利用者 デイサービスセンターの所長をしております。土支田で30年の施設になります。図書館より定期的に本を数十冊持っきてもらい、施設利用者が好きな時に読めるようになっていて、図書館に行かなくても読めるということをやっ続けてもらっています。いつも持っきていただいてありがとうございます。高齢者施設ですので、こういった機会に図書館の本が読めるということで楽しみにしてもらっている方もたくさんいらっしゃいます。9月には読み聞かせにも来ていただきました。歩ける利用者は図書館に行くきっかけがあるといいと思います。昆虫が好きな方ならいいのですが、植物に興味のある方が多いので、3月にはカタクリがありますが、稲荷山と清水山で、今はこんな植物があります、こんな花が咲いています、といっ

た展示をしていただけるとそれを目的に図書館に行きましょう、となるのかなと思います。

図書館 先ほど施設ご担当者から次回の本のお渡しについてお電話で打ち合わせをしたのですが、次回お持ちする本はもうちょっと難しいもの、現在のイスラエル情勢がわかるものを、というリクエストをいただきました。

利用者 デイサービスは難しく、保育園や幼稚園ではないため、童謡を歌ったりするのをあまりいいと思わない方も多かったです。社会情勢についてや植物の生態系を調べたいというさまざまなニーズに答えていかなければいかず、深い内容は図書館にお願いするのが一番説得力があるのかなと思っています。ここに来て借りたい本があったら借りたいと思います。

図書館 ぜひよろしく願いいたします。

利用者 こちらでも年間4～5回連携事業をしていただいています。来ていただくイベントは、おはなし会にあわせてこちらは自然体験を提供しているのですが、おはなしだけでも自然体験だけでも伝えられないことが相互だと伝えられることが多いです。たとえば絵本の読み聞かせをした後に絵本の中のいきものに会いに行こうということ以外にいきもの探しに行くと子どもたちの興味の深さも見ていて違うなと思うことがあります。だんごむしのだんちゃんが主人公だと「だんちゃんがいた」「このだんちゃんは」と観察が進んでいきます。図書と絡める自然体験ができるのは図書館のおかげだと思っています。貴重なイベントの機会をいただいております。現在11月中に大泉町一丁目農園ラリーというものを連携で実施していて、毎年恒例で大人の方にも楽しんでいただいています。毎年楽しみにしているご高齢の男性がご自身でお友達にポスティングされていて、この間大勢で農園を周り、中里郷土の森と稲荷山図書館にも行く、というツアーのようなことをされました。地域のみなさまに愛される企画になりつつあると感じています。引き続きよろしく願いいたします。

図書館 最初はお散歩マップ作成をされていて、一緒にやらせていただくことになり、スタンプラリーをしようとなり、せっかく農園がたくさんあるのだから直売所を周らせてもらおうというおはなしが今の形になり、今年で3回目となりましたね。

利用者 そうですね。ブラッシュアップされて関係者もだんだん増えてきました。

図書館 直売所の方とおはなしができるのもいいと思います。農園の方からもいろいろな方とおはなしができて楽しかったとおっしゃっていただけます。

利用者 日曜日に開催している自然体験プログラムで以前、「虫の顔に注目しよう」というプログラムで、子どもたちに事前にイメージしてもらうために図書館から虫の顔が出てくる絵本をお借りしましたが、子どもたちの反応がとてもよく、小さい子も保護者にも注目してもらえ、絵本を使用することでこんなに子どもたちを一気に引き込めるんだという気づきがありました。今後もぜひ絵本のパワーをお借りしたいと思います。絵本は考えられて作られているので、読みたくなってしまうのだなと思いました。

利用者 しかも図書館に相談するとぴったりの本を紹介していただけますね。

利用者 本と自然体験というおはなしですと、どうしてもお子さんのイメージがあります

が、たとえばヘルマン・ヘッセの『少年の日の思い出』に出てくる昆虫標本の展示ができる方というのが栃木県立図書館にいらっしゃいます。SNS上では、私を稲荷山図書館関係者だと勘違いされていたようです。その方は昨年、1720年代に出版されたメリアンという著者の『スリナム産昆虫変態図譜』という立派な装丁の本の復刻版を自費で出版し、全県の教育委員会に3冊ずつ配布し、適当な図書館へ配布依頼をされました。「稲荷山図書館ではすでに購入したそうです」と伝えたと「寄贈せずに所蔵いただきうれしいです」とおっしゃっていました。その方からも何か連携事業が出来るのではないかと、との話もありました。お子さん向けでもいいでしょうし、大人が読む本に出てくる実際の昆虫を見ていただく、というアプローチも面白いのかなと思います。

図書館 昆虫講演会は大人向けになりますが、大人向け事業はあまり多くはないので良いと思います。昆虫にとっても詳しく、講師をご紹介いただいたりもしており、図書館関係者と勘違いされてしまったのかもしれませんが、いつもご協力いただきましてありがとうございます。

利用者 むしの日のイベントは2年続けて講師が森上さんでしたが、他にも本を書いている方でイベントの講師をしてくださる方がいらっしゃいます。「思考を変えて新しいイベントを」ということがありましたら、ご紹介できると思います。また、ぜひやっていただきたいイベントがあります。先ほど8,000冊の昆虫資料があるということでしたが、「なぜこんな本がここにあるのか」という本がありまして、例えば『TSU・I・SO』という字ばかりの昆虫の本があるのですが、これは個人の方が毎週自費出版で出していた週刊誌です。それがここにはあります。こういった本がどういった経緯で作られたのか。恐らくそういった司書の方でも手に負えないようなことを、僕らのような趣味でやっている者が、興味を持っている方に説明できる会があったら面白いだろうなと思います。お子さんや初心者の方には『ザイツ』の石販画の説明なども面白いかと思います。『ザイツ』というのはドイツで作られた石販印刷の図鑑です。稲荷山図書館に多く所蔵があって、蝶の翅の光る部分を雲母で表していたりするものです。そういった資料を見るイベントがあったら面白いだろうと思います。

利用者 本当に昆虫好きの方を集めたディープな事業を行い、その方々がSNSなどで発信する、という周知の仕方もありますね。

利用者 北海道から沖縄まで、結構稲荷山図書館を知っている方もいます。「あの」「あそこ」など、「あの図書館」という言い方をよくされていますよ。

利用者 デジタルの時代なので、ネットを使うと広がっていくのではないのでしょうか。アナログとデジタルの両方で広がっていきたいですね。

利用者 個人的に昆虫のイベントには参加していて、貴重な経験をさせていただいています。子供のイベントでも、ガイドでも先生でもない詳しい方がいると、子供たちの吸収する力が変わります。ですので、子供だけではなく、大人も一緒に参加できるイベントがあると良いと思います。

利用者 図書館で教えてもらったことを教えてくれる子もいます。

利用者 昆虫は身近で、中里郷土の森も近く当たり前のように思いがちですが、他の図書

館ではこんなに昆虫資料があるところはないですし、詳しい方もいないと思うので、すごく恵まれた環境だと思います。私の娘もいろいろ図書館を周り、結局稲荷山に戻っているようです。聞くと答えてくれるという環境が整っていることはありがたいと思います。自信をもって進められる館だと思います。

図書館 ありがとうございます。

利用者 こちらの図書館でおはなし会のボランティアをしております。一昨年はコロナ禍でおはなし会ができず、去年から少しずつ再開し、今年は消毒や検温をしなくてもたくさんのお子さんに来ていただくようになり、とてもうれしく思っております。こちらの図書館のお子さんに対するおはなし会、読み聞かせの特徴としてはとてもあたたかいものを感じます。その一つとして少し前ですが、おはなし会を実施し後片付けをしていたところスタッフの一人がお母さんとお子さんを連れていらっやいました。おはなし会参加のため来館したが絵本を選んでいるうちにすっかり忘れて時間が過ぎてしまった、ということスタッフが気づいてお部屋までお連れし、もしよろしければ読んでいただきたいと申し出あったので、片付け途中ではありましたがその日のおはなし会で呼んだ本の中から1冊そのお子さんに選んでもらい読み聞かせをしました。はじめはドキドキして恥ずかしそうにしていますが「これ」と選んだ本を1対1で読んであげたところすごくうれしがり、お母さんもとても感謝されていました。こういったところが稲荷山図書館のあたたかいところだと思いますのでこれからも続けていきたいと思っています。

図書館 うれしいご意見、本当にありがとうございます。

7 館長挨拶

他にご意見がなければこれで利用者懇談会は終了させていただきます。みなさまよりいただいたご意見を今後につなげていけたらと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はご出席いただきましてありがとうございました。